IT・ユビキタス社会論

科目ナンバリング　POI-201
選択　　2単位

藤田　昌克

1. 授業の概要（ねらい）

「いつでもどこでも」、「何でも誰でも」がネットに繋がるユビキタス社会を迎えています。そのインフラを支えるIT技術やサービスにはどのようなものがあり、ユビキタス社会によって、何が変わり、何ができるようになるのか？本授業では、実例を交えながらITユビキタス社会を概観します。

2. 授業の到達目標

（1）IT・ユビキタス社会を支える基本技術／様々な用語を理解し、説明できる
（2）IT・ユビキタス社会に関連するB2B事業を展開する企業についての情報を自分で調べ分析できる
（3）IT・ユビキタス社会に起こるさまざまな課題を分析し、IT技術を応用した解決策を案出できる

3. 成績評価の方法および基準

毎回の課題(30%)、学期末プレゼン(30%)、学期末テスト(40%)を総合して評価します。（ただし学期末テストを受けるには、授業への必要回数以上の出席が必須です。詳細は開講時に指示します）

4. 教科書・参考文献

参考文献
西垣通・伊藤守編著　『よくわかる社会情報学』　ミネルヴァ書房
その他、適宜参考書籍、文献などを指定します。必要に応じてハンドアウト資料を配布します。

5. 準備学修の内容

毎回、授業で取り上げたテーマに関連する企業についての調査などを課題とします。授業時間内に課題を完成できなかった場合、授業の翌々日までに完成させて提出してください。欠席した場合もテキストや授業資料を参照し、同様の期限までに課題を提出してください。

6. その他履修上の注意事項

・教室設備の都合上、受講者数に定員を設けます。第1週に受講人数を確認するので必ず出席してください。
・外部講師による「IT事業スタートアップの事例紹介」を予定しています。
・授業最終フェーズにグループワークによる「ITサービスの企画提案」を行います。
・IT関連分野のいろいろな会社や事業に興味を持ち、自ら評価する方法を修得してください。
（IT関連分野への進路希望有無は問いません）

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　ユビキタス・社会システム（1）オンラインショッピング
【第3回】　ユビキタス・社会システム（2）ブロックチェーンとFinTech
【第4回】　ユビキタス・社会システム（3）ビッグデータとクラウド
【第5回】　ユビキタス・コミュニケーション（1）通信ネットワーク
【第6回】　ユビキタス・コミュニケーション（2）通信と放送
【第7回】　ユビキタス・コミュニケーション（3）深層学習とAI
【第8回】　ユビキタス・マクロ社会情報技術（1）ディジタルコンテンツと文化
【第9回】　ユビキタス・マクロ社会情報技術（2）IoT（Internet of Things）
【第10回】　ユビキタス・マクロ社会情報技術（3）情報セキュリティ
【第11回】　ユビキタス・マクロ社会情報技術（4）知的財産権
【第12回】　ユビキタス・情報技術と近未来（1）これからのIT職種／ITサービスの企画検討1（グループワーク）
【第13回】　ユビキタス・情報技術と近未来（2）オープンデータ／ITサービスの企画検討2（グループワーク）
【第14回】　ユビキタス・情報技術と近未来（3）集合知とメディア／ITサービスの企画提案（グループワーク）
【第15回】　まとめ